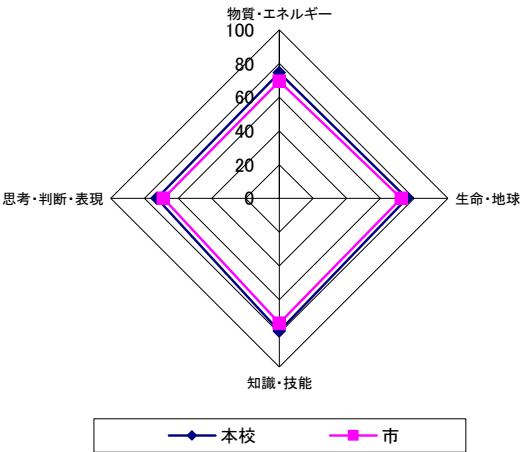


宇都宮市立桜小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	74.6	69.5	65.2
	生命・地球	75.7	72.3	70.1
観点別	知識・技能	78.7	74.0	70.7
	思考・判断・表現	72.6	68.7	65.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○ほとんどの問題で、市の平均正答率を上回った。特に、空気を入れたびんの中の体積の割合についての問題では、市の平均正答率を16.1ポイント上回った。 ●グラフを読み、食塩とミョウバンの水へのとけ方についての問題では、市の平均正答率を10.6ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・科学的な言葉や概念を使用して思考したりグラフを読み取りたりすることに課題が見られる。根拠を明らかにして考察し、考えを書き表す活動を通して、科学的な見方・考え方を育むようにする。
生命・地球	○月と太陽に関する問題の、ボールの位置についての設問では、市の平均正答率を11.1ポイント上回った。 ●月と太陽に関する問題の、実験から和歌が読まれたときの月の形を推測する設問では、市の平均正答率より14.6ポイント下回った。	・理科の見方・考え方を使って思考・判断する場面を意図的に設け、主体的な学びにつながるようにする。 ・今後も実験を大切に行うと同時に、視覚教材を活用してより理解を深められるよう指導を工夫する。